



令和7年度全国学力・学習状況調査 結果の概要

四條畷市教育委員会

文部科学省・国立教育政策研究所

1

令和7年度全国学力・学習状況調査の概要



調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、

全国的な児童生徒の学力や
学習状況を把握・分析し、
教育施策の成果と課題を検証し、
その改善を図る

学校における児童生徒への
学習指導の充実や
学習状況の改善等に
役立てる



そのような取組を通じて、
教育に関する継続的な
検証改善サイクルを
確立する



調査概要

調査実施日

令和7年4月14日(月)～17日(木)

調査対象

①児童生徒：小学校6年生、中学校3年生
②学 校：小学校等（約19,000校）、中学校等（約10,000校）

調査事項

①児童生徒：教科調査〔国語、算数・数学、理科〕 / 質問調査
②学 校：質問調査

調査問題

・学習指導要領で育成を目指す、知識及び技能や思考力、判断力、表現力等を問う問題を出題。
・「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善のメッセージを発信。

今年度の調査の特徴

・CBT調査の導入（中学校理科）
・生徒質問でのランダム方式の試行
・多様な児童生徒の状況把握
・結果公表の内容・スケジュールの改善

本市の実施状況

○実施校数 市立小学校6校、市立中学校3校の全校で実施

○実施児童数 小学校第6学年児童 392人

○実施生徒数 中学校第3学年生徒 387人

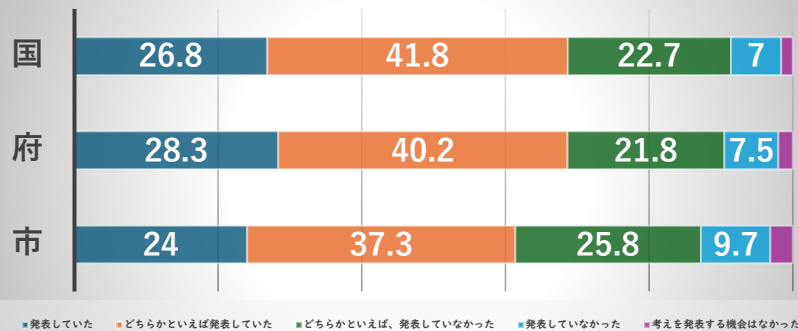
調査結果の概要

- | | |
|------------------------|-----------------|
| 1 子どもの「学びに向かう力」に関すること | 7 小学校 理科 |
| 2 子どもの「自己肯定感」に関すること | 8 中学校 国語 |
| 3 子どもの「生活習慣」に関すること | 9 中学校 数学 |
| 4 子どもの「ICT機器の活用」に関すること | 10 中学校 理科 |
| 5 小学校 国語 | 11 市の取組（記述力の向上） |
| 6 小学校 算数 | |

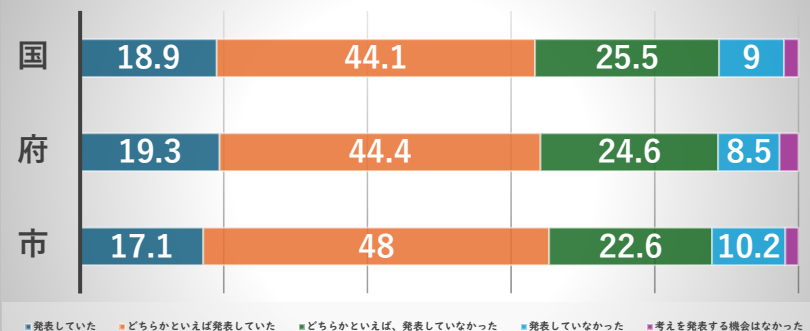
1 子どもの「学びに向かう力」に関すること

(31) 自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか

小学第6学年



中学第3学年

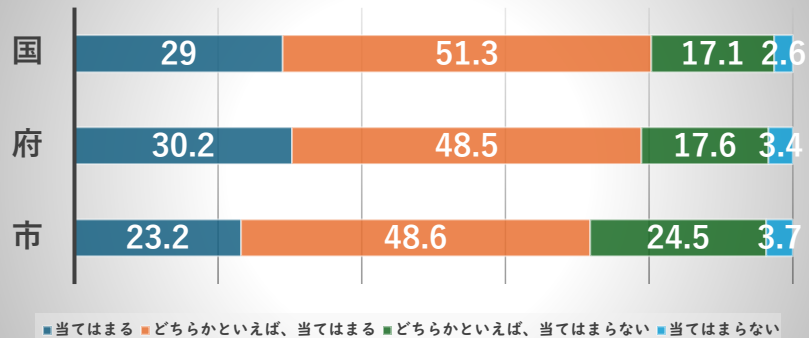


(結果) 小学校：やや下回る 中学校：やや上回る

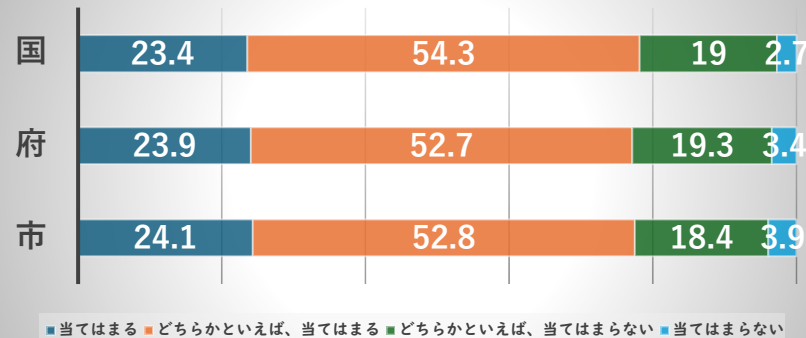
中学第3学年の結果において、肯定的な回答の割合では、国が63.0%、市が65.1%と全国を上回った。話し言葉ではなく、相手や目的に応じて発表する場面を充実させたことが結果につながったと考える。

(32) 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

小学第6学年



中学第3学年

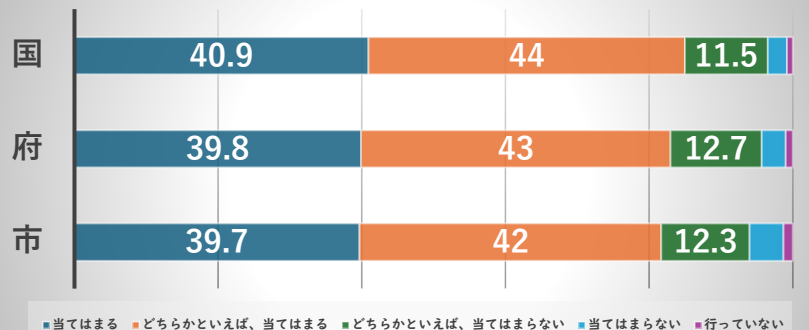


(結果) 小学校：下回る 中学校：並み

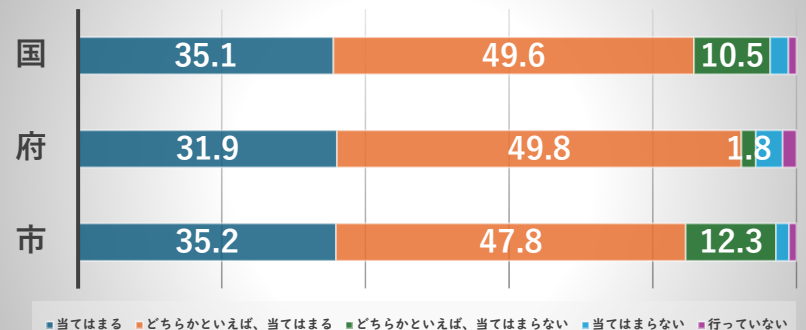
小学校で「どちらかといえば当てはまらない」と回答した割合が高いことから、主体的な判断、自己決定の場面を充実させることが期待される。

(35) 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか

小学第6学年



中学第3学年

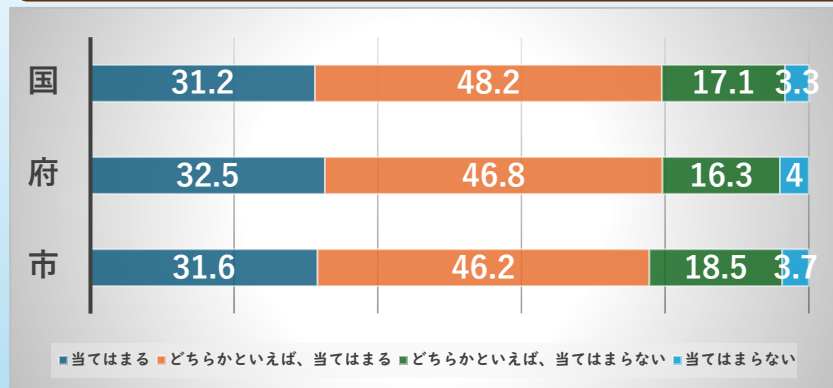


(結果) 小学校：やや下回る 中学校：並み

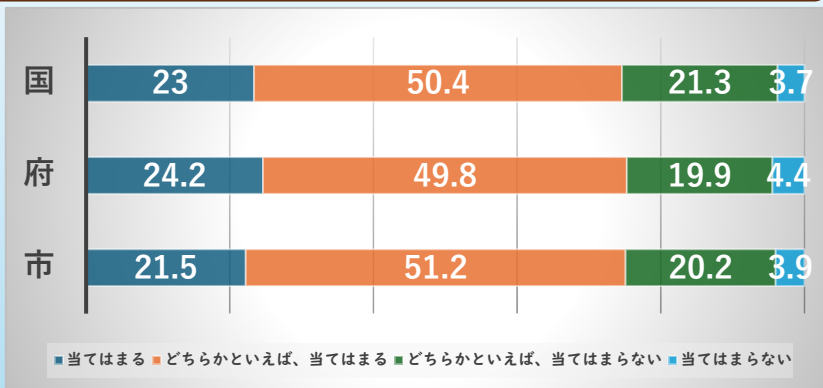
「協働的な学び」は将来にわたって必要な資質・能力である。「授業スタンダード」をもとに「協働的な学び」を一層推進していく。

(36) 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか

小学第6学年



中学第3学年



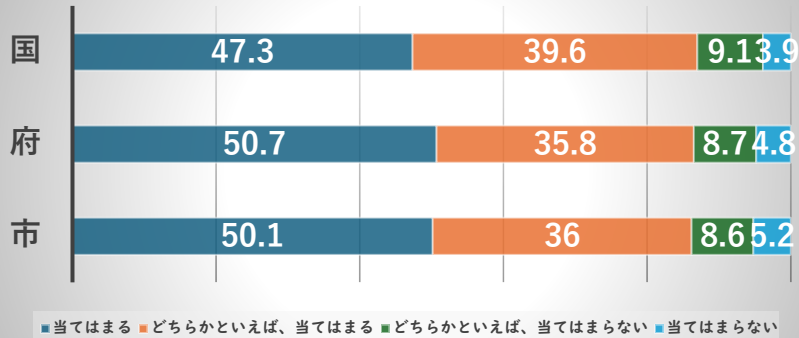
(結果) 小学校：並み 中学校：並み

学習を振り返ることは学習内容の定着に効果的です。本市では「AI型ドリル」を導入しており、活用促進を図り、児童生徒の定着度に応じた「個別最適な学び」を一層推進していく。

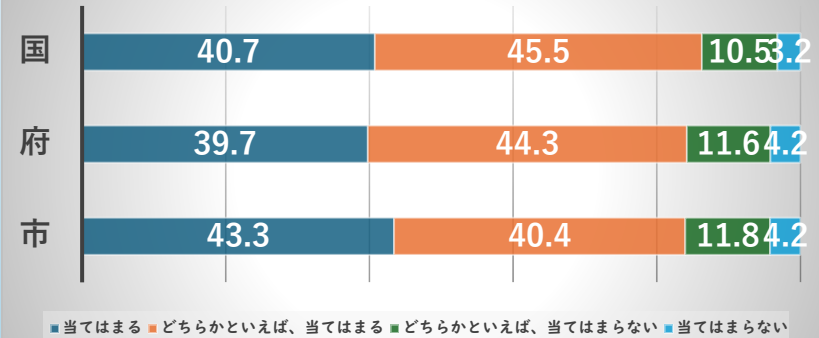
2 子どもの「自己肯定感」に関すること

(5) 自分にはよいところがあると思いますか

小学第6学年



中学第3学年

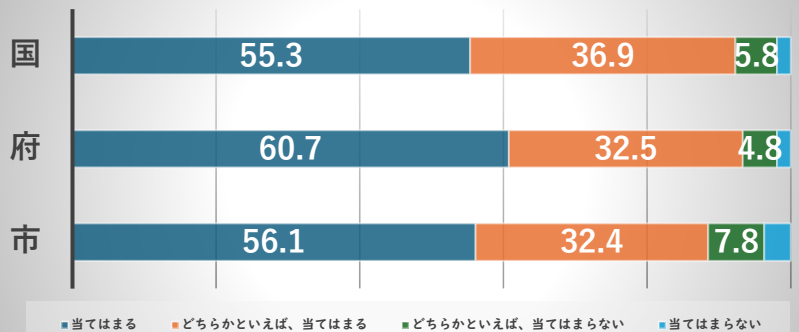


(結果) 小学校：やや上回る 中学校：やや上回る

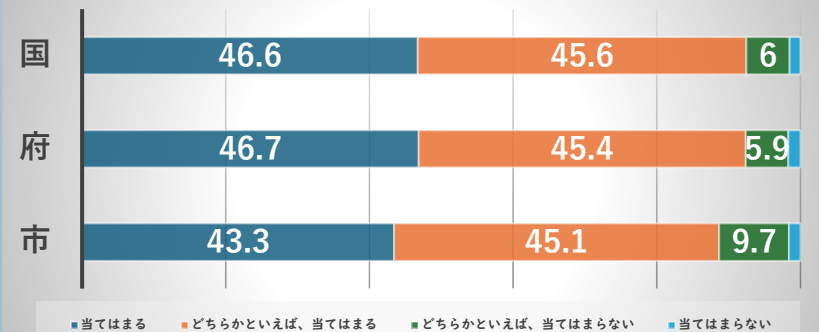
小中学校ともに「当てはまる」と回答した割合は全国より高い。引き続き、学校では児童生徒一人ひとりを承認する取組を推進していく。また、「当てはまらない」と回答した割合の減少をめざす。

(6) 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。

小学第6学年



中学第3学年

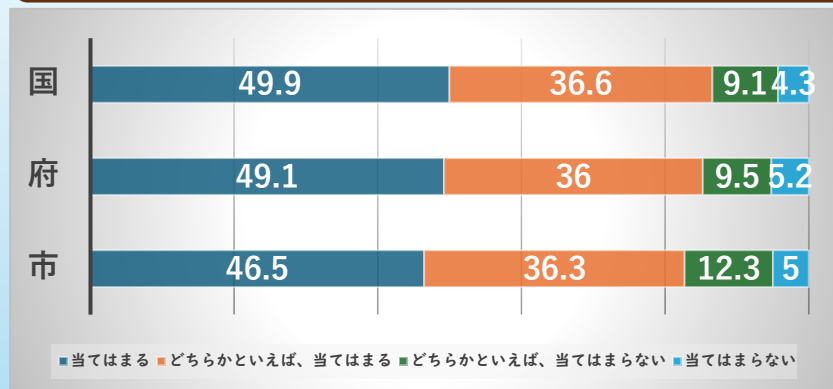


(結果) 小学校：やや下回る 中学校：やや下回る

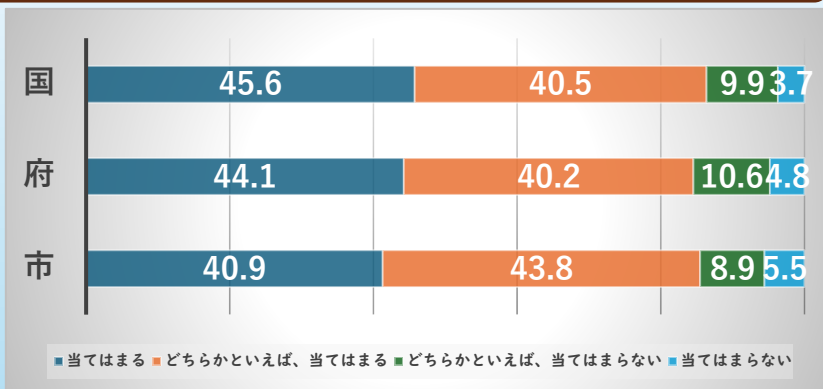
小学校においては「当てはまる」と回答した割合は全国を上回った。「どちらかといえば、当てはまる」までを含めると小中学校ともにわずかに下回った。「ポジティブ行動支援の学校体制づくり」を広めていく。

(12) 学校に行くのは楽しいと思いますか

小学第6学年



中学第3学年



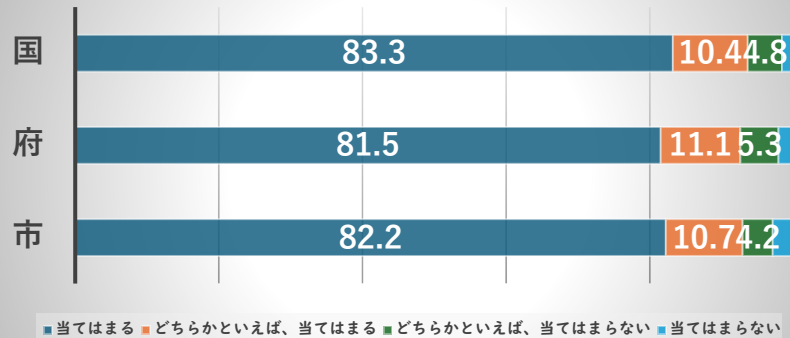
(結果) 小学校：やや下回る 中学校：並み

大半の児童生徒が「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した。小学校においては、やや下回ったことから、各校で否定的回答の割合を減少させるべく、児童の実態に応じた取組を推進していく。

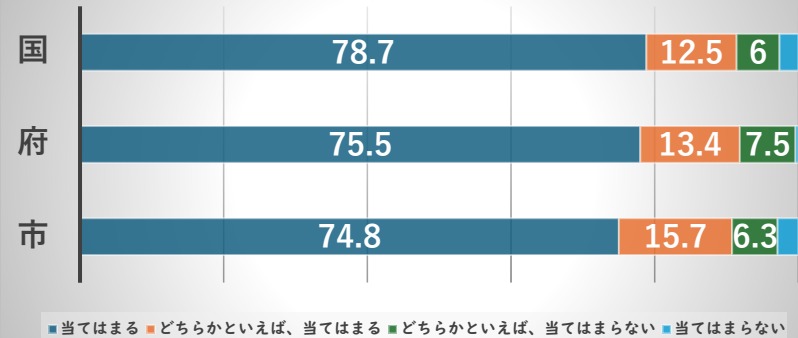
3 子どもの「生活習慣」に関すること

(1) 朝食を毎朝、食べていますか

小学第6学年



中学第3学年

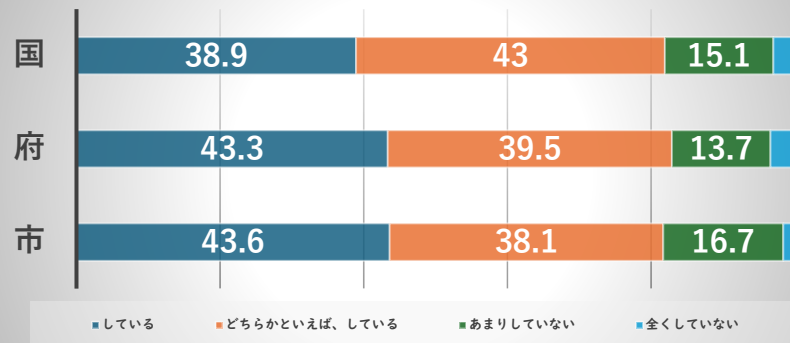


(結果) 小学校：並み 中学校：やや下回る

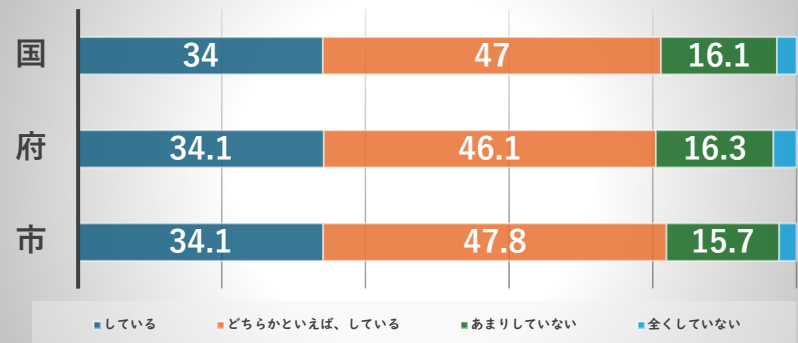
本市の課題であった「朝食の摂食率」においては、小中学校ともに改善傾向がみられる。引き続き、地域・保護者への啓発を推進する。

(2) 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

小学第6学年



中学第3学年

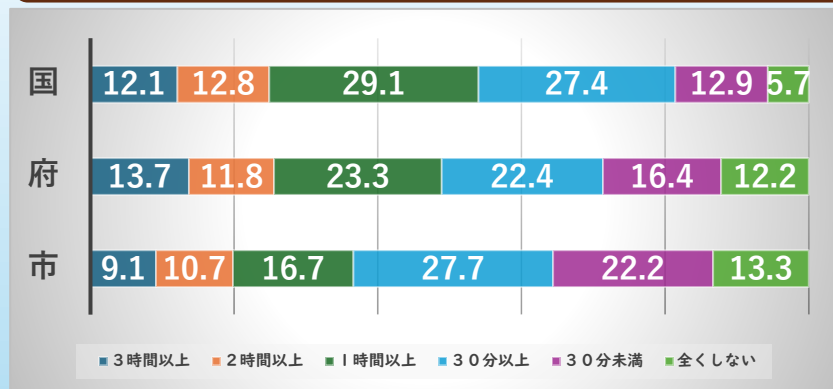


(結果) 小学校：やや上回る 中学校：並み

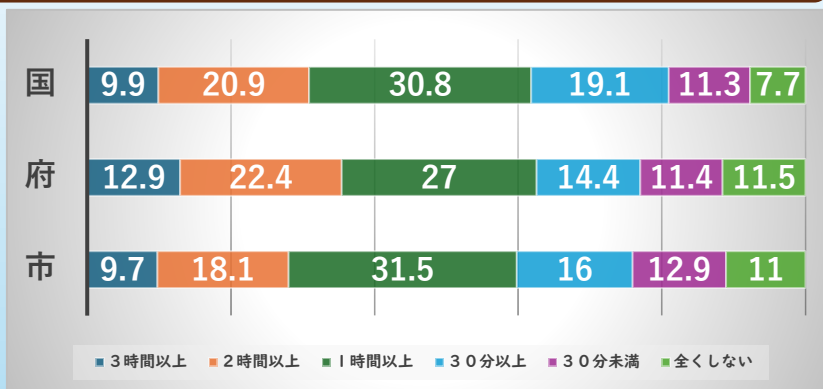
小学校においては「している」と回答した割合は全国を上回った。小中学校ともに、各家庭における規則正しい生活習慣への意識の高揚が見られる。引き続き、生活習慣改善に向けて保健指導を行っていく。

(17) 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか

小学第6学年



中学第3学年



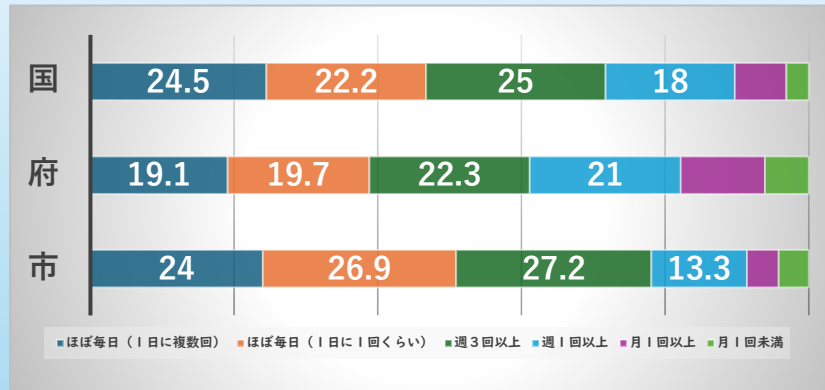
(結果) 小学校：課題あり 中学校：やや課題あり

「30分未満」、「全くしない」と回答した割合は小学校で国18.6%のところ市35.5%、中学校で国19%のところ市23.9%であった。家庭学習の習慣化に向けた取組を推進していく。

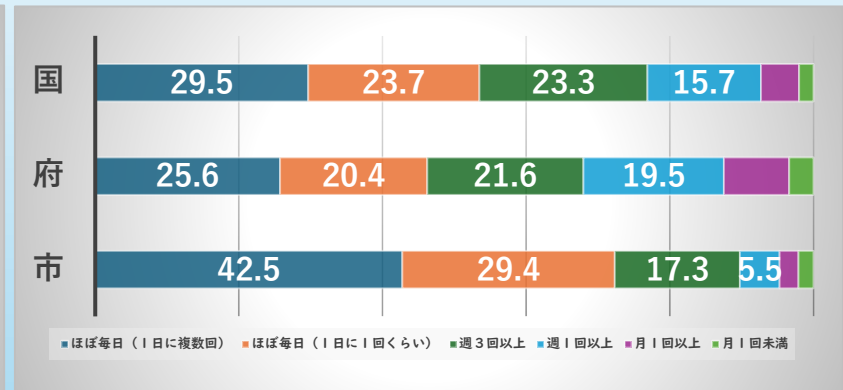
4 子どもの「ICT機器の活用」に関すること

(28) 授業でPC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。

小学第6学年



中学第3学年

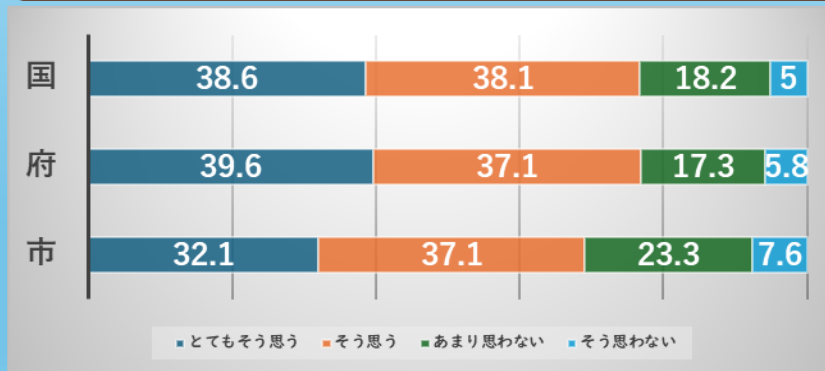


(結果) 小学校：上回る 中学校：上回る

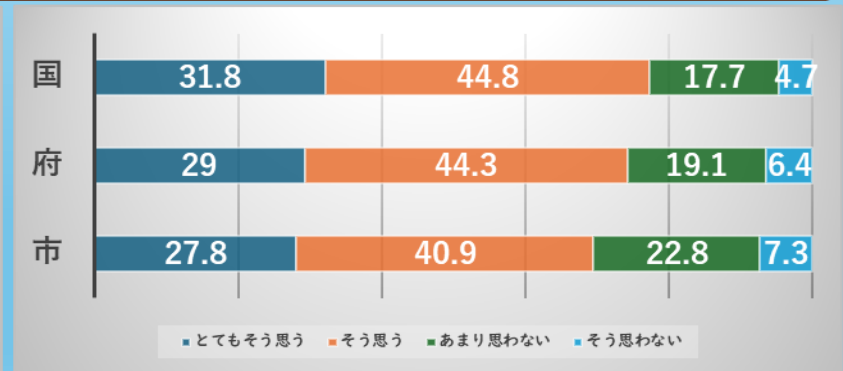
「ほぼ毎日使用した」と回答した割合は小中学校ともに全国を上回った。授業支援ソフトやA I型ドリル、プログラミング学習教材の導入が成果につながったと考える。

(29-4) PC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができるといいますか

小学第6学年



中学第3学年



(結果) 小学校：下回る 中学校：下回る

小中学校ともに下回ったことから、タブレットの効果的な活用研修を充実させることにより、高度情報化社会を生き抜くための資質・能力の育成を推進する。

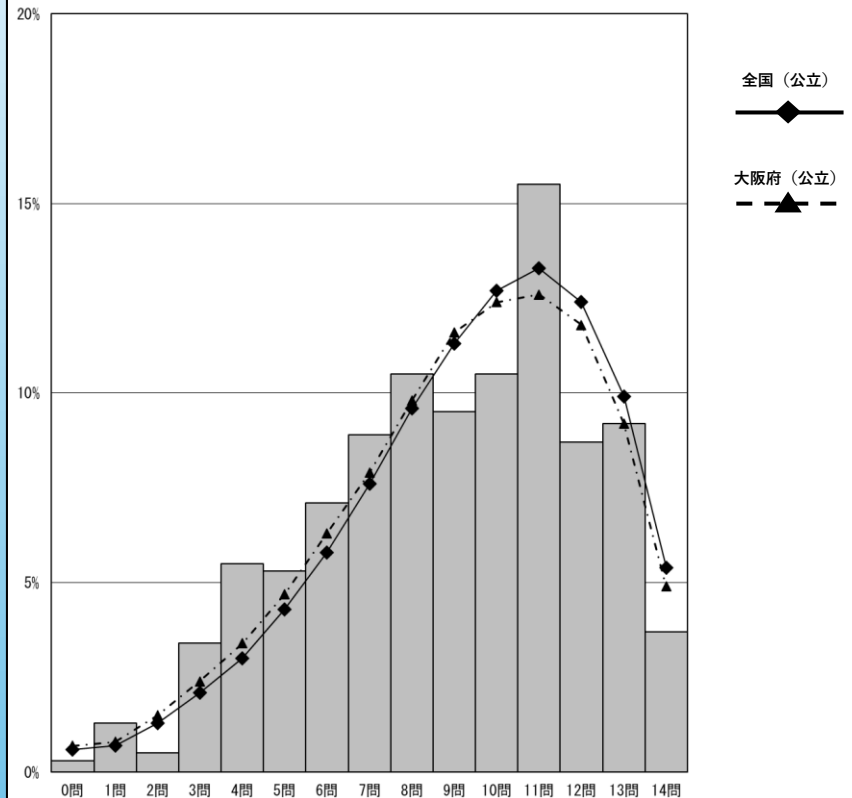
5 小学校 国語

平均正答数・正答率・無回答率

	平均正答数	平均正答率	無回答率
四條畷市	8.9 問 / 14 問	63%	3.4%
大阪府	9.2 問 / 14 問	65%	3.4%
全国	9.4 問 / 14 問	66.8%	3.3%

学習指導要領の内容		平均正答率(%)		
		四條畷市	大阪府	全国
知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	72.8	77.0	76.9
	情報の扱い方に関する事項	59.2	61.5	63.1
	我が国の言語文化に関する事項	74.7	80.3	81.2
思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	62.2	65.0	66.3
	書くこと	66.9	67.1	69.5
	読むこと	55.1	56.1	57.5
問題形式	選択式	61.4	63.4	64.7
	短答式	73.9	78.2	78.5
	記述式	56.4	55.7	58.8

正答数分布グラフ



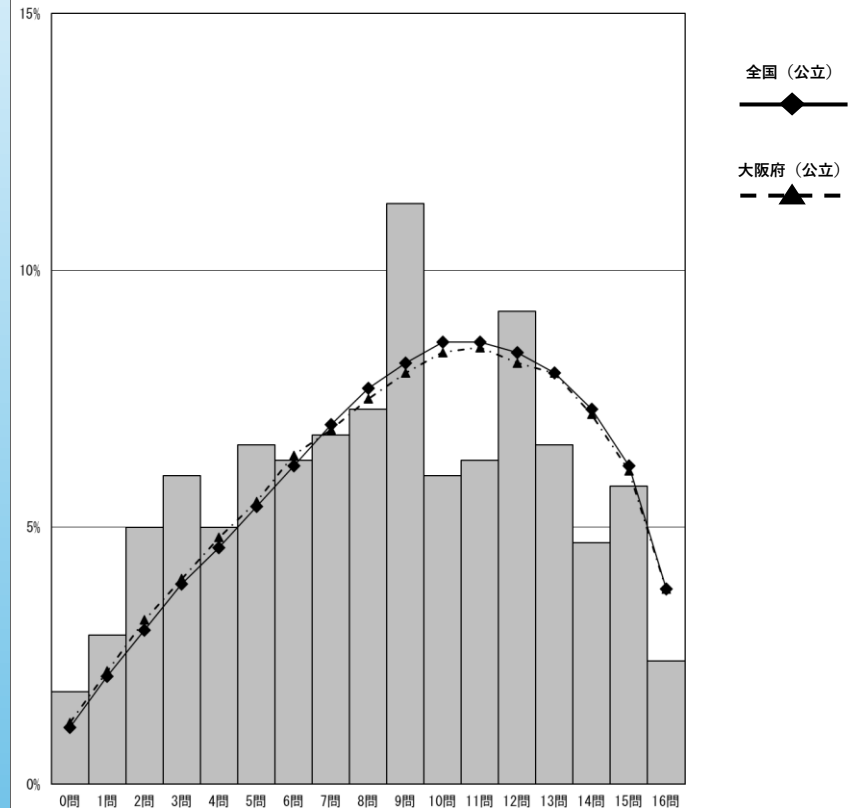
6 小学校 算数

平均正答数・正答率・無回答率

	平均正答数	平均正答率	無回答率
四條畷市	8.5 問 / 16 問	53%	5.2%
大阪府	9.2 問 / 16 問	58%	3.3%
全国	9.3 問 / 16 問	58.0%	3.6%

学習指導要領の領域及び評価の観点		平均正答率(%)		
		四條畷市	大阪府	全国
領域	数と計算	58.3	62.4	62.3
	図形	49.5	55.7	56.2
	測定	49.1	53.8	54.8
	変化と関係	52.3	57.3	57.5
	データの活用	56.7	61.5	62.6
評価の観点	知識・技能	60.3	65.1	65.5
	思考・判断・表現	43.2	47.9	48.3
問題形式	選択式	62.1	66.8	67.2
	短答式	59.5	63.8	64.0
	記述式	28.9	34.3	34.9

正答数分布グラフ



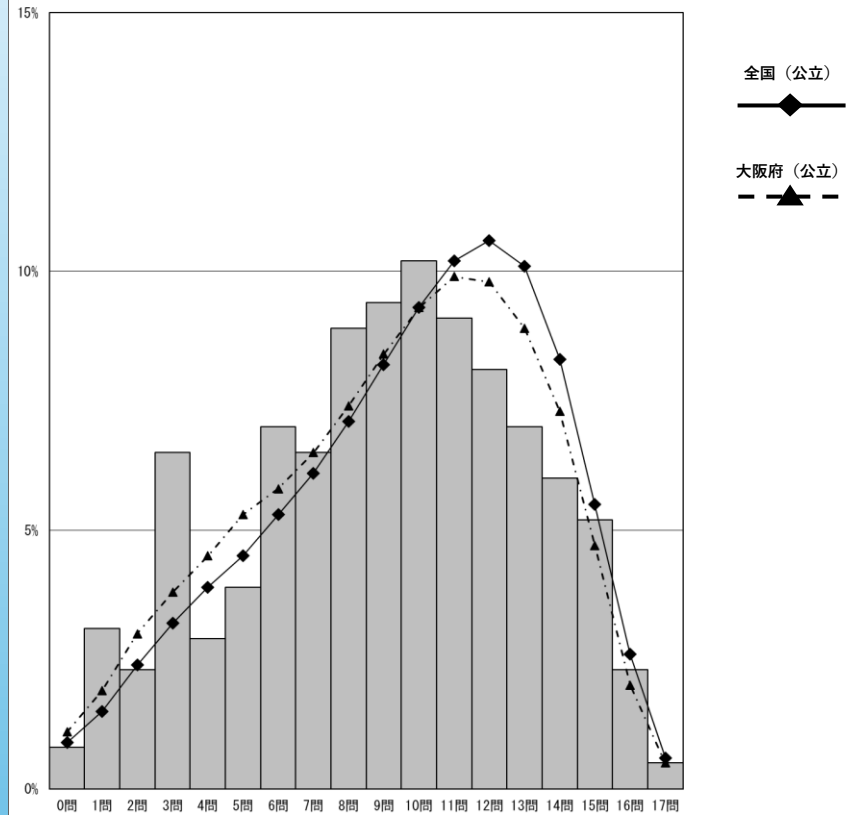
7 小学校 理科

平均正答数・正答率・無回答率

	平均正答数	平均正答率	無回答率
四條畷市	9.0 問 / 17 問	53%	3.5%
大阪府	9.3 問 / 17 問	55%	3.2%
全国	9.7 問 / 17 問	57.1%	2.8%

学習指導要領の領域及び評価の観点		平均正答率(%)		
		四條畷市	大阪府	全国
領域	エネルギー	46.2	43.9	46.7
	粒子	47.9	49.4	51.4
	生命	46.4	49.0	52.0
	地球	61.4	63.9	66.7
評価の観点	知識・技能	52.8	52.7	55.3
	思考・判断・表現	53.3	56.2	58.7
問題形式	選択式	51.2	52.4	54.7
	短答式	65.9	66.8	69.7
	記述式	37.7	41.6	45.2

正答数分布グラフ



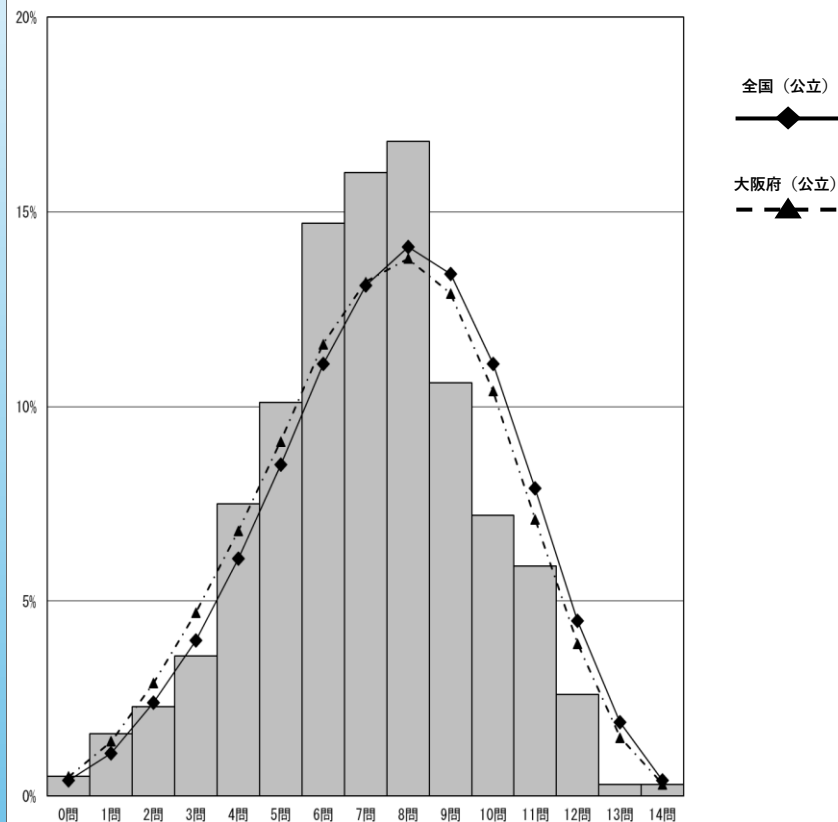
8 中学校 国語

平均正答数・正答率・無回答率

	平均正答数	平均正答率	無回答率
四條畷市	7.0 問 / 14 問	50%	6.1%
大阪府	7.3 問 / 14 問	52%	7.2%
全国	7.6 問 / 14 問	54.3%	6.7%

学習指導要領の内容		平均正答率(%)		
		四條畷市	大阪府	全国
知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	47.5	47.8	48.1
	情報の扱い方に関する事項	—	—	—
	我が国の言語文化に関する事項	—	—	—
思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	45.0	50.7	53.2
	書くこと	49.0	50.5	52.8
	読むこと	61.2	61.2	62.3
問題形式	選択式	59.9	62.4	63.9
	短答式	72.0	72.6	73.6
	記述式	20.0	22.6	25.3

正答数分布グラフ



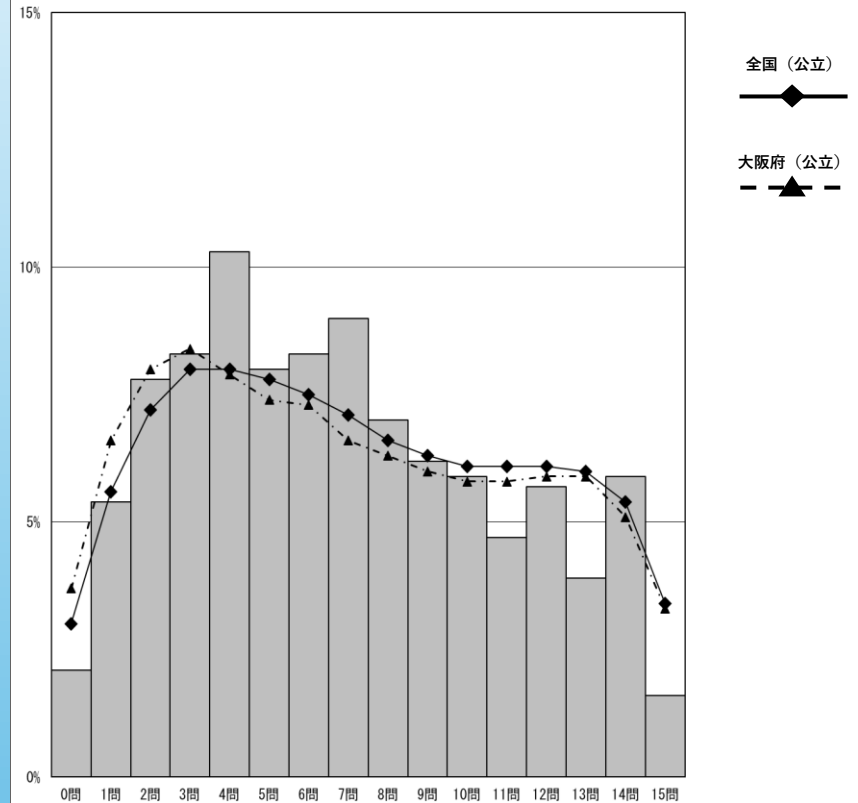
9 中学校 数学

平均正答数・正答率・無回答率

	平均正答数	平均正答率	無回答率
四條畷市	6.9 問 / 15 問	46%	9.7%
大阪府	7.0 問 / 15 問	47%	12.1%
全国	7.2 問 / 15 問	48.3%	10.6%

学習指導要領の領域及び評価の観点		平均正答率(%)		
		四條畷市	大阪府	全国
領域	数と式	41.0	42.4	43.5
	図形	43.4	46.2	46.5
	関数	45.0	46.3	48.2
	データの活用	58.1	54.9	58.6
評価の観点	知識・技能	51.3	52.9	54.4
	思考・判断・表現	37.6	37.4	39.1
問題形式	選択式	49.8	52.4	54.0
	短答式	49.0	50.5	52.0
	記述式	39.0	38.0	39.6

正答数分布グラフ



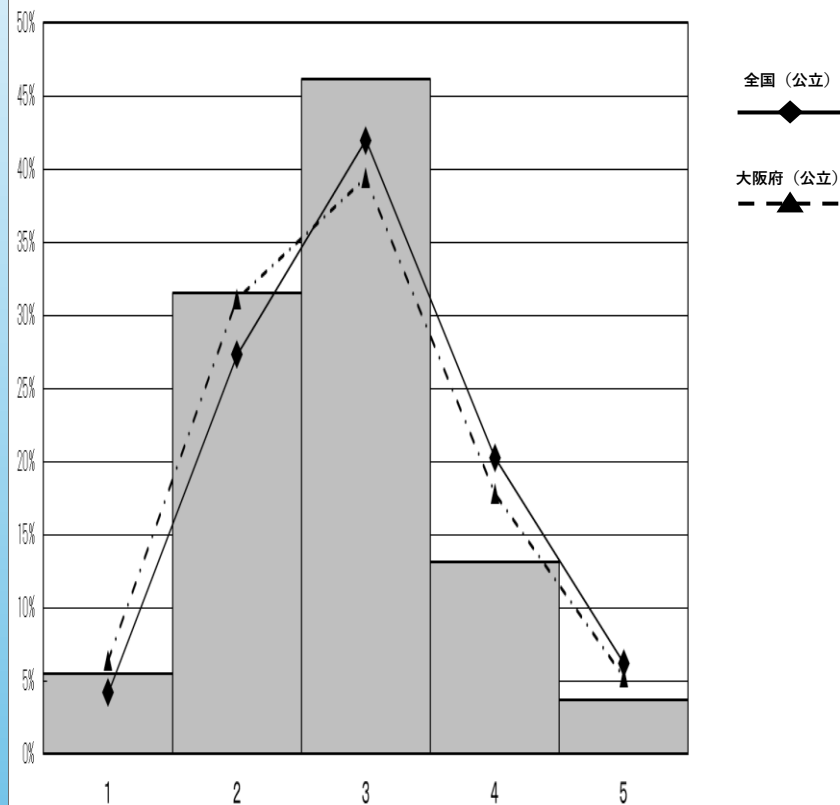
10 中学校 理科

全日程共通の公開問題における 平均正答数・無回答率・IRTスコア

全日程共通の公開問題における			IRTスコア	
	平均正答数	無回答率		
四條畷市	2.6 問 / 6 問	4.8%	市	481
大阪府	2.7 問 / 6 問	6.1%	府	487
全国	2.9 問 / 6 問	4.6%	全国	503

全日程共通の公開問題における 学習指導要領の領域及び評価の観点		平均正答率(%)		
		四條畷市	大阪府	全国
領域	エネルギー	52.2	52.7	51.9
	粒子	52.3	53.2	56.8
	生命	21.0	27.7	29.7
	地球	34.1	33.5	36.2
評価の観点	知識・技能	39.2	42.0	42.2
	思考・判断・表現	48.8	49.2	53.9
問題形式	選択式	35.8	38.0	39.3
	短答式	44.4	45.6	44.9
	記述式	56.2	57.0	62.8

IRTバンド分布グラフ



四條畷市の取組（記述力の向上）

令和7年度全国学力・学習状況調査 小学校第6学年 国語（国立教育政策研究所）より 引用

物を包む使い方
手ぬぐいは、いろいろな物を包むことができます。

この原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。
解答は、解答用紙に書きましょう。
※◆の印から横書きで書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

【調べたこと】

〈本を読んで分かったこと〉

- ブックカバー
 - ・何回か折るだけで、すぐに完成する。
 - ・本の大きさに合わせて包むことができる。
- ペットボトルカバー
 - ・ペットボトルを包んで持ち運ぶことができる。

〈使ってみて分かったこと〉

- ブックカバー
 - ・よれがつかのを防ぐことができよかった。
 - ・落としたときに、本がきずつかなかった。
- ペットボトルカバー
 - ・水てきが荷物につかなくてよかった。
 - ・温かい飲み物が冷めにくかった。

くわしく

【ちらし】

手ぬぐいには、いろいろなよさがあります。そのよさは、どのようなものでしょう。

よさ1 もよう

さまざまなよさがあり、すきなもようを選ぶことができます。おくり物としてもぴったりです。

季節を感じるもよう

手ぬぐいには、植物や風景をもとにしたもようがあります。季節に合わせて手ぬぐいを選ぶことができます。

しゅみやすきなものに合わせたもよう

スポーツや音楽などに関係するもようの手ぬぐいもあります。相手のアこみに合わせて、もようを選び、おくることができます。

よさ2 使い方

手などをふくだけではなく、身に着けたり、物を包んだりすることもできます。

身に着ける使い方

あつい日に、水でぬらして首にまくと、すずしく感じます。また、外で作業をするときに頭にかぶると、あせをきゅうしめ、両手が空くので仕事がいそぐくなります。

物を包む使い方

手ぬぐいは、いろいろな物を包むことができます。

このように、手ぬぐいには、いろいろなよさがあります。みなさんもぜひ使ってみてください。

書き直す力

目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する力が求められています。「書いて終わり」ではなく「書き直す」活動を充実させることで、子どもたちの記述力を高めています。

この問題の正答率

四條畷市

58.4

大阪府

57.7

国

61.3



目的や意図を意識して
書く指導が充実！
正答率も高まってきました

この問題の正答例、その他の問題は「国立教育政策研究所」のページでご覧になれます。
<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>

